

こどもは
たそさんの大人に守られつつ
たそさんの兄弟姉妹たち
などなどに、きたえられつつ
ま育つかな——

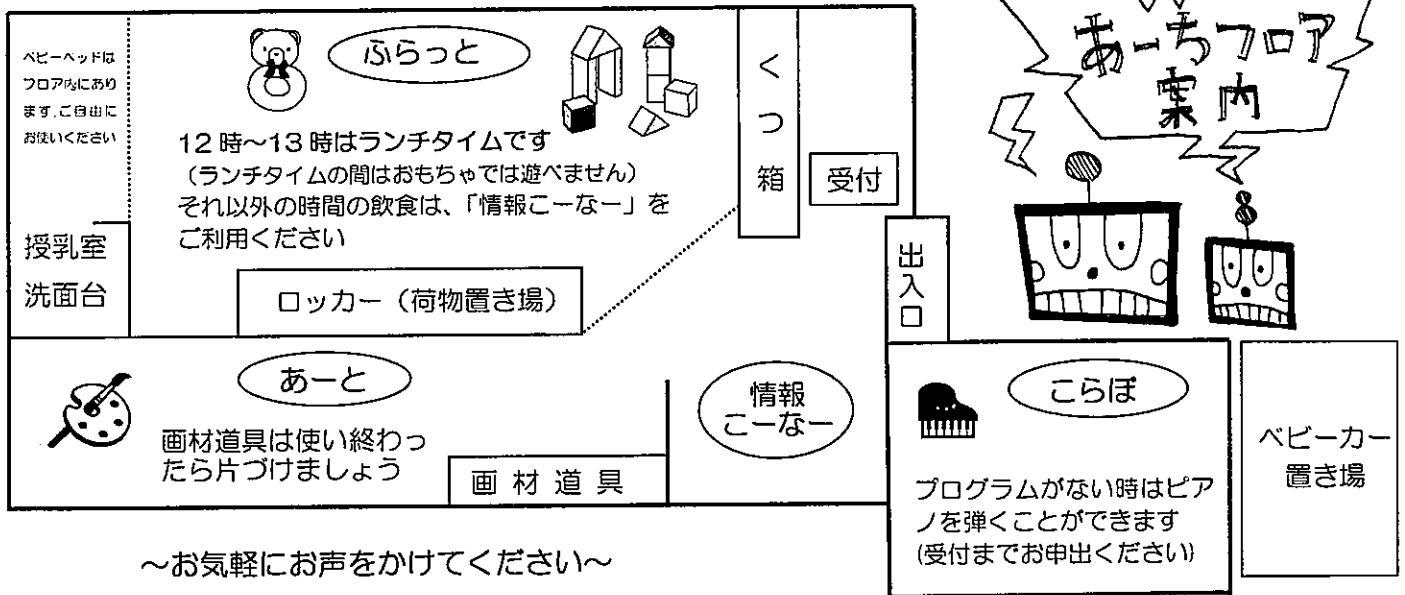
あーちには
たそさん
まじまじいるて

私も
あーちに行ってみよう

9 月 予 定 表

		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	火		あーち10周年ウィーク! 9月1日(火)~5日(土)	おひさまひろばあーち(午前中) オープニングイベント 11時20分~ 人形劇団「むー」10周年記念公演 &小林さんの紙芝居 2時~
2	水	小児救急のおはなし(灘消防署) 11時~ 津田先生 あーちを語る(音楽付き) 2時~		
3	木	らくがきダンス 2時30分~		安全のおはなし(灘警察署) 11時~
4	金	居場所づくり 3時~6時&めだか親子クラブ(パン焼き実験) 3時30分~		トーンチャイム 11時~
5	土	何でも発表会 I 部 午前中 あーち・テーマソングを歌おう! 何でも発表会 II 部 1時30分~	おもちゃ病院 終日 ※壊れたおもちゃをお持ちください	
6	日	休 館		
7	月			
8	火	ピーナッツ(予約制) 10時30分~12時		おひさまひろばあーち(午前中)
9	水	ほのぼの音ランド 11時20分~		
10	木	あーち♥ビギナーズ交流会(予約制) (6か月未満のお子さん) 1時30分~3時	筆をもとう 1時~2時30分	
11	金	親子わらべ歌あそび 11時20分~ 居場所づくり 3時~6時		
12	土	0歳児のババママセミナー&中・高校生の赤ちゃんふれあい体験(予約制) 10時30分~		人形劇 1時30分~
13	日	休 館		
14	月			
15	火	ピーナッツ(予約制) 10時30分~12時 あーち通信編集会議 1時30分~ あーち連絡協議会 3時~	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分~	おひさまひろばあーち(午前中)
16	水	ババママほっと(予約制) 10時30分~12時		ベビーマッサージ(はいはい) 11時~
17	木			
18	金	居場所づくり 3時~6時	アートセラピー 3時30分~5時	
19	土	ぼっとらっく(予約制)		
20	日	休 館		
21	月			
22	火			
23	水			
24	木			
25	金	博物館(準備) 終日	居場所づくり 3時~6時/ らくがきおばさんがやってきた 3時30分~	
26	土	博物館		
27	日	休 館		
28	月			
29	火	博物館		おひさまひろばあーち(午前中)
30	水	博物館		ベビーマッサージ(ねんね) 11時~

- ・プログラム参加の年齢制限はありません。内容などの詳細は受付までお問合せください。
- ・「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」「らくがきダンス」は汚れてもいい服装でご参加ください。
- ・ベビーマッサージにご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。
- ・「ふらっと」は16時30分(金曜日は17時30分)より整理整頓の時間とさせていただきます。



～お気軽にお声をかけてください～

<ふらっと相談員>

火曜 午前 保育士
午後 灘区地域活動支援コーディネーター (13:00～15:00)
水曜 午前 NPO 法人マザーズサポーター協会 (第4水)
午後 灘区地域活動支援コーディネーター (13:00～15:00)
木曜 全日 助産師/保育士 (11:00～16:00)
午前 助産師 (月2回)
土曜 午前 助産師 (第2土)

あーちのルール

☆オムツやゴミはお持ち帰りください
☆託児はできません
☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です

『あかちゃんたいそう』

鈴木孝太郎・作

小峰書店

2011年2月



絵本のせかいへ
ようこそ

『たいそう』と開けば「1・2・3! 1・2・3!」ってイメージを持って
しませんが? この絵本は「1・2・3! 1・2・3!」ではなく…
スキンシップをしながら おうちの方や ぬいぐるみとでも 本と同じような
動きをマネして 楽しく 笑って あそべます。

息子の幼い時に出版されていたならば 私と一緒にケラケラ笑いながら あそんでいたかも。
何度でも。

浜家



アメリカの新学期は9月です。高校生たちは、大学生となり、親元を離れて自立していきます。親もこれを子離れの時期と認めていますし、また、子どものほうも、親と暮らすことを嫌がる様です。

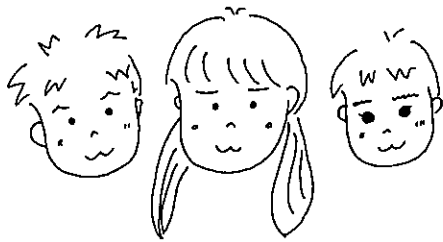
Message
from U.S.A.～

私がこちらに来てまだ数か月ですが、パーティーで年配の方にお会いすると、よく耳にするのが、「アメリカでは若者が尊敬されて年寄りを敬わないのよ。日本は、お年寄りを国なのね。素晴らしいと思うわ。」ロシアも、お年寄りを敬う文化です。ロシアでは、例えば、電車で若者や男性がお年寄りや女性に席を譲らないのは、恥ずかしいことだと躰けられています。アメリカは個人主義的な躰のようです。個人主義的に育てる方法の一つに、競争社会で勝ち抜くように育てることがあるようです。日本は、お互い周囲との調和を考えて育てられますね。次月のコラムでは、調和と個性について、お話ししたいと思います。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

六通目「我が家のビフォーアフター」

みのり



長女さん：目下の敵は「あまりのある割り算」、小三
まんなかくん：「はちパンちょうだい!」「はち」?
ああ「蒸し」→「虫」→「蜂」か、年長
三番目：注目してほしいくて出ない涙を絞り出します、三歳

夏休み、我が家の懸案事項だった「子供部屋の大掃除」を決行しました。「子供部屋」とは名ばかり、長女さんとまんなかくんの二段ベッド、子供だんすはあるものの、すっかり物置部屋と化していました。長女さんは勉強は居間でしているし、暑い時期は家族全員同じ部屋で寝てエアコンをかけた方が効率がいい…。結局学用品やおもちゃなどを取りに出入りするだけで、ほとんど使っていないかったです。

子供部屋を本来の姿に、と思ったのにはいくつか理由があります。①長女さんの学用品が増えてきて、雑然と置かれている状況が気になった。②まんなかくんが来年就学のため、まんなかくんの荷物を収納するスペースを作り、長女さんとまんなかくんそれぞれが勉強する場所を固定したい。(まんなかくんは気が散るタイプなので、部屋の隅に机を置いた方がいいと思った。)③三番目のおもちゃをすっきりと片づけたい。(保育園で「お片付けが苦手ですね。」とよく言われるため。)

二段ベッドを部屋の中央に置いて、長女さんとまんなかくんのスペースを振り分けるように、間取り図を描いたところで長女さんがぐっと食いついてきました。長女さん、テレビの「ビフォーアフター」やDIY特集が大好き。今回の計画にわくわくを隠せません。パパが休みの日を待って、いよいよ大掃除が始まりました。

配置換えの前に、上記のスペース確保のため古くなった大型の本棚を解体する作業がありました。結婚の時にパパとママが持ち寄った本を始め、仕事関係の本やら趣味の情報誌やらを、まさに「断捨離」。重要なもの以外は「全部捨てる」が基本です。今までもこの本棚を整理することはあったし、本も手放してきたのですが、今回ほど大胆に捨てたことはありません。

作業中の夫婦の会話。「どうしてこんなのにとっておいたのかな?」「いらんよな。」「これが大切だと思ってたんだよね。」「当時はな。」思ったより懐かしむことはなく、作業は進みました。本棚の解体が終わり、さて次は、とキャビネットの子供たちの写真や児童館、幼稚園でもらった記念の手形などいわゆる「思い出ゾーン」に取りかかった途端、手が止まってしまいました。「この写真見て」と何回パパを呼んだことか。キャビネットを空にするはずだったのに、大して中身を減らせませんでした。

その後ベッドを動かし、机を配置し、とりあえず大きな作業は終わることができました。今回の大掃除では、夫婦の持ち物を手放し、それでできたスペースを子供たちに譲り渡していくことにちょっとした「嬉しさ」を感じました。ここ数年で自分たちにとっての「大事なもの」が変わっていったからだと思います。パパとママが長年持ち続けてきた本やなんかはなくなったけど、子供たちが笑顔で過ごせれば、その方がいいや。

草々

